



寒さがいっそう厳しくなり、校庭の木々もすっかり冬の装いとなりました。そろそろ2学期の終わりも見えてきたようです。慌ただしい毎日の中でも、本を手にとりページを開くひとときは心を落ち着かせてくれます。今年1年を振り返りながら静かな読書時間を作ってみるのもいいですね。



冬休み貸出はじめます！

期 間 12月8日(月)より
貸出冊数 ひとり5冊まで
返却日 1月16日(金)

※ 冬休み期間の図書館の開館はありません。



12月生まれです！



世界中で親しまれているディズニーのアニメ。その産みの親であるウォルト・ディズニーは1901年、アメリカのシカゴで生まれました。人を喜ばすことと絵を描くことが得意だったウォルトは美術学校を卒業後、美術会社を立ち上げますが上手くいかず、生活のためにフィルム会社に入社します。そこでアニメーションの技術を身につけたことで、後に「ミッキーマウス」という大スターを誕生させることができました。数々のアニメーションをヒットさせたウォルトは、やがて大規模な遊園地ディズニーランドを開園します。

新着図書のコーナーから



クマはなぜ人里に出てきたのか

永幡 嘉之 著 489ナ 旬報社

著者は2009年に山でクマを探索した際、全く見つけられず、その翌年も見つけたとしてもクマは人間の気配を感じるとすぐに逃げていってしまったそうです。今年はクマが人の生活圏に出てくることが増加しているというニュースをよく見ます。この十数年の間にいったいどのような環境の変化があったのでしょうか。

涙の箱

ハン・ガン 著 929ハ 評論社

特別な涙を持っている子どもと、「純粋な涙」を探して旅をするおじさん。おじさんは涙を集める人で、必要な人に売ることもあると言います。子どもとおじさんは、涙を買いたいというお爺さんのもとへ向かい…。不思議な内容ながら、あたたかな希望もわいてくる物語です。

わらって、考える！イグ・ノーベル賞ずかん

古澤輝由 監修 377ワ ほるぶ出版

イグ・ノーベル賞とは、アメリカのユーモア科学雑誌の編集者マーク・エイブラハムズらが創設した賞。1991年から毎年「人々を思わず笑わせ、そして考えさせる業績」を残した人や団体に贈られています。例えば「集中していると目の前をゴリラが横切っても気づかないことがあると証明した研究」や、「自分を実験台にしてたくさんのハチやアリに刺されてみた研究」など、自分ではぜったいやりたくないけど結果は知りたい研究がたくさん！ぜひ読んでみてくださいね。